

募 集 要 項

氏 名：大杉卓三	研究室：第 2 研究室棟 548
専 攻 分 野：ソーシャル・ビジネス、ソーシャル・マーケティング	
演習テーマ：社会課題解決に資するビジネス	E-mail：thosugi@cc.kyoto-su.ac.jp

演習内容・主なテキスト

本演習では、社会課題をビジネスの手法を用いることで緩和および解決に導くソーシャル・ビジネスや社会的企業を中心テーマとして扱います。同時にインクルーシブ・ビジネス、BOP（開発途上国の低所得層）ビジネス、SDGs（持続可能な開発目標）ビジネス、コミュニティ・ビジネス、CSR（企業の社会的責任）、NPO/NGO といったソーシャル・ビジネスと近接する分野についても扱います。

ソーシャル・ビジネスを学ぶうえでの知識の素地を形成するために経営学の基礎的なテキストを特にソーシャル・マーケティングについて演習で読み進めることから始めます。次に SDGs（持続可能な開発目標）について学びます。そのうえで演習に参加する学生の研究課題の希望に沿った専門的な内容について議論をおこないます。

<演習 1>

演習 1 に取り組む 2 年次では、経営学についての知識を確実に身に付けるため経営学のテキスト（ソーシャル・マーケティング、経営戦略論など）を読み、また、そのうえでソーシャル・ビジネスおよび、インクルーシブ・ビジネス、BOP ビジネス、そしてコミュニティ・ビジネスといった「社会課題の解決を目的としたビジネス」とは何か、それらが必要とされるようになった背景と目的について文献や各種資料より学び、同時にグループワークをおこなうながら体系的に身に付けます。

演習を通して、インプットの「読む力、聴く力」、そしてアウトプットの「書く力、話す力、表現（プレゼンテーション）する力」を磨きます。論理的な思考能力の開発とスキル習得についてワークショップ形式を取り入れながら学びます。

<演習 2>

秋学期の演習 2 では、演習 1 から継続して基礎的なテキストを読みます。後半ではロジカルシンキング（論理思考）を学び、さらにデザイン思考によるワークショップをおこないます。また学生グループが取り組む研究テーマの内容検討をおこない、どのような社会課題を今後の研究テーマとするのかを明確にします。その他、神山祭（学園祭）へ 2 年生ゼミとして出店をおこない小規模事業の実践的な学びの機会とする場合もあります。

<演習 3>

演習 2 から引き続き、経営学の基礎的な知識習得を目的としたテキストや各種資料の輪読、グループワークを継続しながら専門的な知識習得をおこないます。次に SDGs（持続可能な開発目標）について学びます。そのうえで演習 2 において検討した「グループ研究テーマ」に沿い、研究活動をおこないます。演習 3 の段階ではテーマを決め、夏休み期間中にどのような調査をおこなうのか決定します。グループでの研究テーマは、教員が学外組織（企業、NPO など）等から持ち込み、学生に与える場合もあります。

<演習 4>

演習 3 で検討したグループ研究を進め完成させます。夏休みに収集したデータを分析し

パワーポイントにまとめ、ゼミ活動大会において発表をおこないます。舞台に立ち実際にプレゼンテーションを行う機会とします。

演習 4 の最後には、次年度に向けて「卒業論文の書き方ワークショップ」をおこないます。このワークショップでは、グループ研究ではなく個人研究の集大成としての卒業論文とはどのようなものかを理解し、書き方の基礎を学びます。

＜演習 5・6＞

4 年次、演習 5・6 は卒業研究と卒業論文の執筆をおこないます。テキスト輪読などは継続しながら、演習 4 までに蓄積した知識と経験に基づき学生個人の卒業研究のテーマを決定します。卒業研究のテーマを決定した後はフィールドリサーチ（社会調査）をおこないます。何を、いつまでに、どうやって明らかにするのか意識しながらフィールドに足を運び、質的および量的なデータを収集、分析します。その研究の途中経過を演習において報告します。

卒業研究の途中経過は演習のなかでプレゼンテーションをおこない報告します。同時に論文の書き方についても学びます。演習 6 の最後には卒業研究の内容を卒業論文としてまとめ提出します 11 月頃には 3 年生に向けた「4 年生による卒業論文報告会」を実施します。

教員からの要望

- ・学生の選考は、申込書（志望理由を含む）の提出、および面接にておこないます。
- ・申込書のその他に、「どのような社会課題に対して意識を持っているのか、またこの演習での研究テーマとして設定しようとしているのか」、必ず記述してください。
- ・ソーシャル・ビジネス、社会的企業、NPO/NGO、ソーシャル・マーケティング、社会貢献、国際貢献、ボランティアといった内容を演習における研究テーマとして取り扱うため、学生にも社会へ貢献する強い意識が必要となります。1 年次にはまだ具体的な意識を持つことはまだ難しいかもしれませんが、「大学生活において何らかの社会に役立つ活動をしたい！」というモチベーションを持ち、このゼミに応募してください。
- ・「社会課題とは何か」については、国内外の貧困、高齢化、子育て、地方振興、適正技術、また SDGs（持続可能な開発目標）の達成など幅広くとらえてください。
- ・演習での研究を行うにあたり、実践的な活動を取り入れることも可能です。例えば、学生ビジネスコンテストへの参加などの活動も奨励します。

履修希望科目

3 年生ではインクルーシブ・ビジネス論を履修してください。

教員の自己紹介

これまでの教育研究等において国内外の様々な場所に足を運んできた経験があります。国内外（海外は東南アジアなどの開発途上国を中心に）で見聞を旅して見分を広げたい学生はこの演習で教員に質問してください。